

授業概要

「スポーツ企業」とは、スポーツ用品メーカーやスポーツ小売店、フィットネスクラブ、スポーツイベント会社、スポーツメディアなどのスポーツを製品・サービスとして取り扱う企業のことであり、「スポーツ企業経営」とは、スポーツを製品・サービスとする企業の存続・成長を考えていくことである。本講義では、スポーツを製品・サービスとする企業の存続・成長の方法であるスポーツ企業経営の理論と実態について講義していく。

授業計画

第 1 回	ガイダンス、スポーツ企業経営とは
第 2 回	スポーツ企業経営の基本原理
第 3 回	スポーツ企業の製品開発
第 4 回	スポーツ企業の価格戦略
第 5 回	スポーツ企業のプロモーション
第 6 回	スポーツ企業のブランド戦略
第 7 回	スポーツ企業の流通戦略
第 8 回	スポーツ消費者行動
第 9 回	スポーツ・スポンサーシップ
第 10 回	メディア・リレーションズ
第 11 回	プロスポーツのマネジメント
第 12 回	スポーツイベントのマネジメント
第 13 回	フィットネスクラブのマネジメント
第 14 回	スポーツ施設のマネジメント
第 15 回	スポーツツーリズム
第 16 回	レポート

到達目標

- ・「スポーツ企業経営」とは何なのか事例を交えながら説明できるようになること。
- ・スポーツを製品・サービスとするスポーツ企業と一般企業の違いについて説明できるようになること。
- ・スポーツ企業の経営活動を捉えるための理論フレームワークを習得すること。

履修上の注意

スポーツに関するニュースだけではなく、経済・経営に関わるニュースにも関心を持つこと。

予習・復習

予習はテキストの指定された箇所に目を通すようにすること。復習はテキスト、配布資料に目を通すこと。

評価方法

講義内において課すワーク 90点(1回6点×15回) レポート 10点

- ※ 60点以上の点数取得者を合格とする。但し、レポートの未提出者には単位を与えない。
- ※ 6回欠席した学生には単位を認定しない(発熱・コロナウイルスを理由にしての欠席は応相談)。
- ※ 遅刻は減点する。スマホいじり、私語、内職は注意の上改まらない場合は減点する。

テキスト

- ・教科書名：スポーツビジネス論—理論と実態—
- ・著者名：大野貴司・齋藤れい
- ・出版社名：三恵社
- ・出版年 (ISBN)：978-4-86693-349-8